

彙 報

第 61 回日本言語学会大会

愛知学院大学において、昭和 44 年 10 月 24 日公開講演、25 日研究発表を開催。

1. 公開講演

体制と言語学	村山七郎
助動詞“でも”をめぐる一名古屋方言の一断面	
	芥子川律治
Easy and difficult Languages	A. Martinet

2. 研究発表

ロシア語の文音調について	米重文樹
ジョルジア語における関係代名詞の発達	下宮忠雄
スペイン語通時音韻論の一傾向	原誠
日・中・英語助数詞の比較	早川通介
構文解析の自動化	石綿敏雄
階層と順位と余剰法則	今津藤一

昭和 44 年度第 4 回委員会

日 時：昭和 44 年 10 月 24 日

場 所：愛知学院大学

出席者：（ ）内は委任状受託者

亀井孝，金田一春彦，柴田武 (9)，鈴木孝夫，関本至，野上素一，
服部四郎 (1)，村山七郎

白紙委任 1 名 委員総数 30 名

議決事項：

- 1) 浅井惑倫，落合太郎両評議員が死去されたことに関する措置を決定した。
- 2) 大会運営について決定した。
- 3) 次の大会（春季）は成蹊大学で行う方向で進めることにした。
- 4) 役員制度小委員会の人選の方法を決定した。

- 5) 九学会連合の活動について、来年度の調査地域が沖縄になったことの報告が鈴木委員からあった。又、調査団を組織するための話し合いへの学会代表に柴田武氏を選んだ。
- 6) 事務局を大学外にうつす方向を進めていることについて報告があった。

昭和44年度第5回委員会

日 時：昭和44年12月8日

場 所：学士会本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

亀井孝，河野六郎（1），柴田武（9），鈴木孝夫，徳永康元（1），
前田護郎，村山七郎

白紙委任状3名 委員総数30名

議決事項：

- 1) 役員制度小委員会選挙の開表を行い、柴田武氏の他に次の5氏が選出された。
北村甫，河野六郎，鈴木孝夫，徳永康元，西田龍雄
- 2) 学会事務所を大修館内に置くことで話をすすめることになった。
- 3) 次期大会は成蹊大学で行うことになった。
- 4) 九学会連合の活動について報告があった。
- 5) 文部省科学研究費選考委員を亀井孝氏にお願いすることにした。

◇本会評議員落合太郎氏は昭和44年9月23日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。

◇本会評議員・委員浅井恵倫氏は昭和44年10月9日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。

本誌は文部省昭和44年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものです。

本会事務所は昭和45年4月1日より下記へ移転いたします。

東京都千代田区神田錦町 3-26 大修館ビル内

日 本 言 語 学 会